

授業名称：オリエンテーション

シラバス

(地方公共団体向け)

概要：

政府は、平成 19 年の地理空間情報活用推進基本法の施行を受けて、地理空間情報を活用する人材の育成を図ることとなった。オリエンテーションでは、今回の授業を通して、我々の生活や地域が地理空間情報に取り囲まれており、その情報の活用方法を習得することは、地域を対象にする自治体職員全員に係るテーマであることを理解する。特に、記録や検索など、便利な道具としてのこれまでの使い方から、政策立案や課題解決に向けた社会技術の一つとしての使い方を学習する。

学習目標：

本オリエンテーションでは、

- ① 普段意識していない、地理空間情報の重要性を理解する。
- ② 地理空間情報を活用することの意味を理解する。
- ③ 地理空間情報活用に関する業務改革、調達について理解する。
- ④ 講義全体の内容とその進め方、それぞれの目標について理解する。

受講対象：

地方公共団体等において、GIS に関連する業務に従事している者、もしくは GIS に関する基礎知識は有しており、今後、専門性を高めたい意向がある者等

- (1) 地方公共団体の情報部門の人材
- (2) 地方公共団体の情報部門以外に所属し、GIS の活用が期待される業務に従事する人材
- (3) その他、地域行政に関連する組織に所属し、GIS の活用が期待される業務に従事する人材

教育手法：

パワーポイントによる授業。

担当講師及び講師の必要要件：

各種の地理空間データの特性を理解し、自治体業務全般に関する理解があり、その活用に向けて空間的思考についての理解があること。

参考資料：

各地の GIS 取組事例、及び以下のサイト

- 1) 地理空間情報活用推進会議：GIS ポータルサイト>GIS について>インターネットで使える GIS
<http://www.gis.go.jp/contents/about/internet/index.html>
- 2) 国土地理院：電子国土ポータル>サイト一覧>地方別
<http://portal.cyberjapan.jp/image.html>

キーワード：

自治体 GIS、空間的思考